

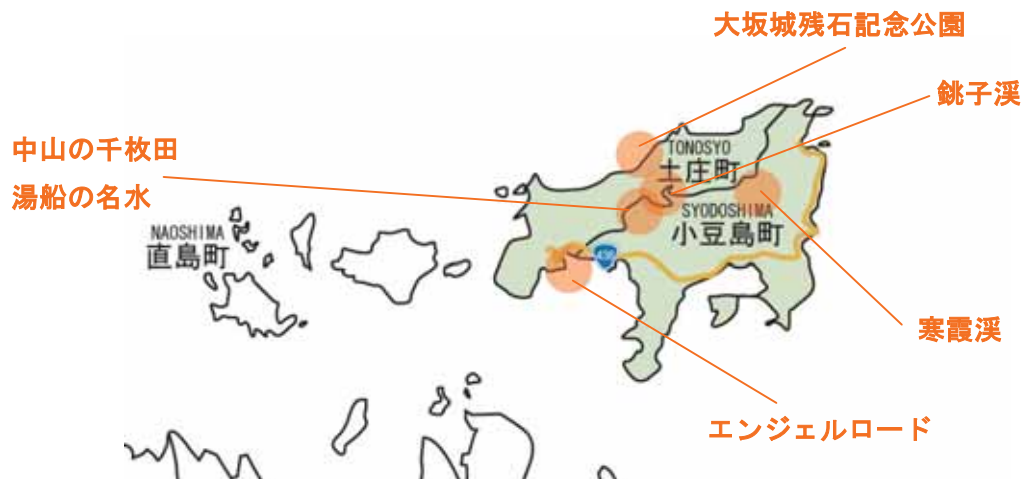
2 香川県

(1) 調査地域

○讃岐平野（高松市、坂出市）【平成 20 年 12 月 13 日調査】



○小豆島（土庄町、小豆島町）【平成 20 年 12 月 14 日調査】



(2) 調査地域の評価（要旨）

評価者：波田重熙氏

ア 讃岐平野

讃岐平野の中に浮かぶ台地状あるいは円錐状の山々とため池を巡りながら、地形の形成や生活の知恵を学び、讃岐うどん巡りをしてその文化や水との関わりについて考えるツアー（一般向け）が可能である。

讃岐平野の地質に規制された地形は、不思議で大層魅力的である。バスガイドを訓練することで、すぐに実現可能であろう。

■坂出市の金山の地すべり緩斜面のサヌカイト製石器の製作場跡と「けいの里（※）」

応用地質学会の巡検参加者を驚嘆させたと聞き、私も驚嘆した。

森林浴や小鳥のさえずりを楽しみながら、地すべりについて学び、石器の製作場跡地を見学して石器の製作を実体験し、さらに「けいの里」でサヌカイトの楽器やその音色を楽しむコースは、地元の小学生の総合学習（この時間はなくなるが）的な授業への活用はもちろんのこと、成人についてはとくに文化人や外国人に喜ばれるジオサイトだと思う。

所有者の理解が必要不可欠であるが、サヌカイト展示場を博物館的に見学しやすくしていただくこと、コンサート会場を活用させていただくこと、そして、地すべり地や石器の製作場跡に日本語と英語の解説板などの整備をされたい。小人数でじっくりと楽しみ、知的好奇心を満足させてくれ、さらには国際的な広がりを大いに期待できると思う。

※けいの里：個人所有地であり、一般公開はされていない



サヌカイト製石器の製作場跡



サヌカイトで作った楽器

■屋島

例えば、屋島の対岸の五剣山地域で、種々の地質などの知識を吸収した後で、山頂を散策しながら景色や歴史を楽しめば良いと考える。

ただし、展望台には屋島の地形と地質、高松市及び瀬戸内海などについて、簡潔に説明する説明板を設置されたい。



源平屋島古戦場



屋島寺 雪の庭

■五剣山地域の石の自然と文化

庵治石の採石場や石材屋に石があふれ、「石の民俗資料館」があり、五剣山の崩壊地形とそれを実感できる八栗寺周辺に散らばる岩塊などは、“石の自然と文化”を堪能できる魅力たっぷりのジオサイトで、ここも、国際的な広がりも確実に期待できる地域だと思う。

香川大学の長谷川教授のようなすばらしい語り部が案内してくれるに越したことはないが、それには少し時間がかかるであろう。ここも、少人数でそれぞれのペースで散策するのにふさわしい場所であるから、散策ルートがわかるようにして、ポイントについてジオも文化もきちっと解説したリーフレット（外国ではそういうものが整備されている）を準備すれば十分だと考える。私自身、もう一度ゆっくり歩きたいと考えるような場所である。

五剣山側から見る屋島の迫ってくるような広がりを持つ景観は素晴らしいものがある。

■食文化としての「うどん」

知名度が高いので、ジオツーリズムの中に組み込むことは当然であろう。

イ 小豆島

花崗岩と火山岩の地質とそれらが形成する地形、今回訪れた地すべり地・千枚田や大坂城残石記念公園など豊富な地質・地形・景観資源があることは間違いない。ただこれまでは、船で島に渡って漠然と景観を楽しみ、海の幸を味わう観光地として開発されて来た経緯がある。したがって、今後いかにジオパークとして整備していくかが問われることになるが、大きな島だけに、一挙に整備することは難しいと考えられ、できるところからやっていくことになるだろう。



四方指展望台



中山の千枚田

ツアーという面では、夏季に長期滞在型で海のスポーツなどと組み合わせると、より魅力的になり、多くの人に関心を示すと思われる。もちろん、寒霞溪だけを訪れる短期滞在のケースも当然あろう。長期滞在の場合は、長谷川教授がその魅力について紹介している豊島や文化・芸術施設がそろってきた直島を含めた周遊コースも考えられる。

いずれにしても、ジオサイトをどこにするのかを決定し、瀬戸内海や島の成因と地形の発達などに関する解説板やリーフレットなどを整備されたい。

(3) 調査地域の主な資源及び保護状況

ア 讃岐平野（高松市・坂出市）

(ア) 主な資源

資源区分		名 称	概 要	キーワード
主な地質・地形		①屋島	【国天然記念物・国史跡】 - 上部に硬い水平な地層があり、下部が比較的軟らかく浸食されやすい地層のため下部が浸食を受け、急崖を形成し、上部は浸食が少ないためにテーブル状の台地(メサ)となっている - 源平合戦の舞台	堆積構造 浸食地形 遺跡
		②仏生山の高松クレター	- 高松クレターは、重力探査によって発見された伏在陥没構造 - 高松市仏生山町にある法然寺を中心に直径約4km、深さ千数百mの規模と推定 - 陥没構造の成因については、隕石衝突孔説と火山のカルデラ跡説がある	地質構造
		③五色台	- テーブル状の台地(メサ)と更にメサの浸食が進んだ円錐状の地形(ビュート)からなる - 叩くと高い音がでるサヌカイトが分布	浸食地形 堆積構造
		④飯野山（讃岐富士）	讃岐平野の特徴でもある円錐状の地形(ビュート)の代表といわれる飯野山は、讃岐富士と呼ばれる	浸食地形 堆積構造
		⑤長尾断層	- 南側の花崗岩類が第四期堆積物の上に、のし上がった逆断層 - 香川県指定天然記念物に指定	地質構造
		⑥五剣山	- 花崗岩を基盤とし、その上に白い凝灰岩と火山角礫岩が堆積 - 八栗寺本堂付近で花崗岩と凝灰岩の境界を観察できる - 宝永地震(1707年)により東側の2峰が崩落し、その岩塊(火山角礫岩)は八栗寺参道でも見ることができる	堆積構造
関連素材	主な文化資源	⑦神谷神社本殿	【国宝】 三間社流造りとして日本最古といわれる	歴史的建造物
		⑧屋島寺本堂	【国重要文化財】 - 四国84番札所(屋島寺) - 建築年代は鎌倉時代後期(その後数回修理) - 屋島寺敷地の「雪の庭」の白い岩石は火山灰からできた凝灰岩	歴史的建造物
		⑨小比賀家住宅	【国重要文化財】 - 江戸時代初期頃建設された旧家 - 敷地に土塀をめぐらし、寄棟造りなど大庄屋であった当時の面影を残している	歴史的建造物

資源区分		名 称	概 要	キーワード
関連素材	主な文化資源	⑩国分寺本堂	【国重要文化財】 ・四国 80 番札所(国分寺) ・建築年代は鎌倉時代後期 ・天正年間の長宗我部氏の侵攻による兵火を免れた	歴史的建造物
		⑪白峯寺十三重塔 2 基	【国重要文化財】 ・四国 81 番札所(白峯寺) ・十三重塔 2 基は鎌倉時代の多層塔の様式を伝える	歴史的建造物
		⑫讃岐国分寺跡	【国特別史跡】 ・奈良時代に造営された国分寺跡 ・昭和 58～60 年の調査によって、金堂跡・講堂跡・塔跡・僧坊跡・東西の築地や大溝などが確認された	遺跡
		⑬讃岐国分尼寺跡	【国史跡】 ・敷地のほぼ中心に法華寺があり、金堂の礎石と推定される石などが残っている ・寺院の詳細については、いまだ明らかになっていない	遺跡
		⑭石清尾山古墳群	【国史跡】 ・双方中円墳という特異な形態の積石塚が山頂の稜線上に存在	遺跡
		⑮城山	【国史跡】 ・山頂の平坦部を中心に城跡があり、また用途不明の石製加工物も散在	遺跡
		⑯府中・山内瓦窯跡	【国史跡】 ・傾斜地を利用した穴窯構造 ・出土した瓦の形式から国分寺、国分尼寺の建立に使われた瓦を焼いた窯であることがわかった	遺跡
		⑰八栗寺	・四国 85 番札所	文化
		⑱高松城跡(玉藻公園)	【国史跡】 ・瀬戸内海に面した堀に海水を引き入れ、天守閣跡を中心に周囲三方の堀に海水をたたえる ・日本三大水城のひとつ ・高松城は香東川の三角州扇状地からなる微高地にあり、沿岸部で最も良い地形と岩盤のところに立地	遺跡
		⑲栗林公園	【国特別名勝】 ・紫雲山を借景とし 6 つの池と 13 の築山を巧妙に配した大名庭園 ・香東川の旧河道に位置し扇状地扇端付近の豊富な地下水を利用	景色

源区分		名 称	概 要	キーワード
関連素材	主な文化資源	⑳石材加工産業	・高松市の牟礼町と庵治町は、最高級の石材といわれる庵治石の産地を背景とした石材加工品の三大産地の一つ	文化産業：採石場
	主な施設など	㉑香川県立五色台少年自然センター自然科学館	・サヌカイトや、サヌカイトでできた石器、化石、生物など様々な分野について展示	自然科学系博物館
		㉒石の民俗資料館	・昔の石工の採石、加工などの様子をジオラマなどで展示 ・石の加工技術を紹介	文化系博物館
		㉓けいの里	・金山の東斜面に、サヌカイトを使った楽器の展示や、その楽器によるコンサート会場 ・敷地内にはサヌカイトの破片が散在 ・石器製作場跡と考えられる	文化系博物館
		㉔香川県立ミュージアム	・香川県の歴史・芸術・民俗に関わる資料を展示	文化系博物館
		㉕瀬戸内海歴史民俗資料館	・瀬戸内海沿岸の民俗・歴史・考古資料を展示	文化系博物館
		㉖四国民家博物館「四国村」	・四国各地から民家や蔵などを移築、復元した屋外博物館 ・「旧河野家住宅」など重要文化財に指定された建物も移築	文化系博物館
		㉗香川県埋蔵文化財センター	・遺跡・遺物から見た香川の歴史を紹介	文化系博物館
		㉘坂出市郷土資料館	・坂出市内の歴史資料を、大正時代に建てられた建物を使い収蔵・展示	文化系博物館
		㉙坂出市塩業資料館	・入浜式塩田を中心に塩作りの道具・資料を展示	文化系博物館
		㉚瀬戸大橋記念館	・架橋実現への道のりや工事の全貌などを動く模型や映像、パネルなどで分かりやすく紹介	文化系博物館

注) キーワードは、「ジオパーク 地質遺産の活用・オンサイトツーリズムによる地域づくり」(オーム社・平野勇著 2008) を参考に分類した

(イ) 保護状況

海岸の大部分と屋島、五色台などが瀬戸内海国立公園に、また高松市南部の一部が大湊大川県立自然公園に指定され、自然保護法により保護活用されている。

国天然記念物・国史跡「屋島」や国特別名勝「栗林公園」などの資源が文化財として指定され、文化財保護法により保存活用されている。



讃岐平野地域の地域資源位置

イ 小豆島（小豆島町・土庄町）

(ア) 主な資源

資源区分		名 称	概 要	キーワード
主な地質・地形		①寒霞溪の火山角礫岩の浸食地形	【国名勝】 ・「星ヶ城」から「美しの原」へ続く南斜面は、激しい浸食地形となっており、急崖の露出する火山角礫岩の奇岩が自然の造形美を形成 ・このような地形は、溶岩台地が浸食される過程で大規模崩壊が発生し、その跡地が長年の風雨にさらされた結果と考えられる	浸食地形 堆積構造 災害地形
		②銚子溪の安山岩の板状節理	・讃岐岩質安山岩の板状節理が見事	岩石
		③エンジェルロード	・干潮時に数時間だけ4島（大余島・中余島・小余島・弁天島）を繋げる砂の道 ・島の河川より流入する土砂が潮流によって堆積し、砂州を形成	堆積地形
		④長浜の土庄層群の化石	・古第三紀始新世（約 5,500 万年前～約 3,800 万年前）までの期間に堆積した地層 ・海棲の貝化石が含まれている	化石
関連素材	主な自然資源	⑤宝生院のシンバク	【国特別天然記念物】 ・宝生院の境内にある日本最大のイブキの巨木	生態系
		⑥誓願寺のソテツ	【国天然記念物】 ・樹齢 500 年以上、株周 8.1m、樹高 7.5 m の雌樹	生態系
		⑦小豆島の植生	・面積のわりに高い山があるため地形は急峻 ・低地から山地までの多様な生育環境で数多くの植物が生育 ・小豆島にのみ生育するショウドシマレンギョウなどの固有種も生息 ・固有種の存在はこの島の成立の歴史と関係し、植物相が長い間隔離されていたことを示す	生態系
	主な文化資源	⑧明王寺釈迦堂	【国重要文化財】 ・室町時代の典型的な建造物	歴史的建造物
		⑨大坂城石垣石切丁場跡	【国史跡】 ・大坂城修築用の石を切り出した丁場（天狗岩、豆腐岩など）刻印のある巨石を見ることができる	遺跡

資源区分		名 称	概 要	キーワード
関連素材	主な文化資源	⑩肥土山の舞台	【国重要有形民俗文化財】 ・回り舞台、せり、花道などの舞台機構を備えている ・特に石積階段状の平座と高座とよばれる二棟の足棧敷を備えた客席構えは、他に類例をみない	文化
		⑪池田の棧敷	【国重要有形民俗文化財】 ・江戸時代後期には構築されていたものと思われる ・自然の地形を巧みに利用した、石垣づくりの棧敷 ・高さ約 18m、長さ約 80m で、6 段ないし 8 段	文化
		⑫中山の舞台	【国重要有形民俗文化財】 ・江戸時代後期の建築 ・回り舞台、せり、花道などの舞台機構を備えており、客席はゆるやかな斜面を利用した石積で仕切られている	文化
		⑬中山の千枚田・湯舟の水	【日本の棚田百選】【名水百選】 ・大規模地すべり地形の緩斜面を利用した棚田が広がっている ・この棚田の水は、背後の湯船山山腹から湧出する湯舟の水を利用	土地利用 災害地形 湧水
	主な施設など	⑭大坂城残石記念公園(大坂城築城残石資料館)	・約 400 年前の大坂城築城の際切り出されたまま残った石を展示 ・資料館では採石関係の資料や岩石の標本・化石も展示	文化系博物館
		⑮マルキン醤油記念館	・醤油造りの道具や製造法などを紹介	文化系博物館

注) キーワードは、「ジオパーク 地質遺産の活用・オンサイトツーリズムによる地域づくり」(オーム社・平野勇著 2008) を参考に分類した

(イ) 保護状況

海岸の大部分と寒霞溪などが瀬戸内海国立公園に指定され、自然保護法により保護活用されている。

国名勝「寒霞溪」や国史跡「大坂城石垣石切丁場跡」などの資源が文化財として指定され、文化財保護法により保存活用されている。



小豆島の地域資源位置

(4) ジオパークの対象となる施設の現況

石の民俗資料館

- ・所在地：香川県高松市牟礼町牟礼 1810（電話：087-845-8484）
- ・管理者：高松市
- ・入館料：一般 200 円、高校・大学生 150 円、小・中学生無料
- ・交通アクセス：コトデン志度駅「八栗駅」下車徒歩約 15 分
- ・営業時間：9 時～17 時、月曜・年末年始休館（月曜が祝日の場合その翌日）
- ・施設：展示室、研修室などの施設の他、体験学習広場、石匠の里公園が隣接し、親子連れの憩いの場となっている
- ・展示内容：石と人間とのかかわりの文化をジオラマなどで展示
- ・企画、イベントの内容：さぬき石物語、コンサート、工作教室など頻繁に開催
- ・年間利用者数：約 6 万人（平成 19 年度）
- ・客層：個人、親子連れ、中高年、グループ客、遠足など
- ・施設の取り組み・特徴：来訪者を増やすため、気軽に楽しんでもらえる魅力ある資料館づくりに取り組んでいる。近隣の博物館関連施設や、むれ源平まちづくり協議会などと連携を深めている



石の民俗資料館内